※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２４

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	第２学年	啓林館『ELEMENT English Communication II』（令和 5 年度版） 駿台『システム英単語』 いいずな書店『Listen For It! #1』 エミル出版『大学入学共通テストリスニング分野別 10 min.』第 2 版 ver. 2

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡの授業は、「聞くこと」「話すこと(やり取り、発表)」「読むこと」「書くこと」という 4 技能 5 領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え等について話したり書いたりする言語活動を多く行います。英語コミュニケーションⅠに比べて専門的・学問的な内容も大幅に増えますので、『システム英単語』の Intermediate Stage 及び Advanced Stage まで進み、マスターに向けて努めます。自然かつフルスピードな英語発音に慣れるための活動も行います。
・第 1 学年で習った文法事項については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、そしてネイティブによる口語表現でどのように変化するか、を意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日本や外国に関するニュースやエッセイなどを、ネイティブスピーカーによってはっきりと話されたら、大まかな趣旨を聞き取ることができる。	・少し長めの評論文や物語文を読んで、論理がどのように展開しているかを把握し、全体の趣旨を理解することができる。	・身近なテーマや時事的なニュースについて、自分の意見を述べたり、聞き手からの質問に対して、答えたりすることができる。	・自分の興味のあることについて、パワーポイントなどを使って、英語で簡単なプレゼンテーションができる。	・教科書などで学んだことについて、英語で要旨を書いたり、自分の意見や感想を理由などを入れて、論理的に書くことができる。 ・感情を豊かに表しながら日記などで自分の考えを書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

※令和４年度以降入学生用

観点	ⓐ 知識・技能	ⓑ 思考・判断・表現	ⓒ 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・読んだり聞いたりした内容について理解している。 ・主な文法事項やストーリーに込められているメッセージを理解している。	・読んだり聞いたりした内容について、自分の言葉で話したり書いたりしている。 ・読んだり聞いたりした内容に対して、自分の意見や発想を読んだり書いたりしている。	・リスニングやリーディングに積極的に取り組もうとしている。 ・ペアワークや発表で積極的に話したり、自分の意見や発想を共有している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	**Lesson 1** Cultures Around the World （９時間）	〈聞くこと〉	ⓐ英語発音の音便（リンキング・消える音・変わる音）を理解する。 ⓑ日常的な話題（偉人の名言など）について、必要な情報を聞き取る。 ⓒ身近な話題（留学生が来日してビックリしたこと等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・観察 ・リスニングテスト
		〈読むこと〉	ⓐ必要な文法事項（形式目的語 it の SVOC + 不定詞・that 節、受動態を使った周知情報、複合関係代名詞、不定詞を使った指示）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「The Culture Map」「Stay Hungry, Stay Foolish」）を読んで、概要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「The Culture Map」「Stay Hungry, Stay Foolish」）を読んで、概要を捉えようとしている。	・ペーパーテスト
	Lesson 2 Power of Words （９時間）	〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（形式目的語の SVOC、複合関係代名詞等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（文化におけるコミュニケーションの違い・スティーブ・ジョブス氏の若者へのメッセージ）の内容についてリテリングを行っている。 ⓒ単元の本題（文化におけるコミュニケーションの違い・スティーブ・ジョブス氏の若者へのメッセージ）の内容についてリテリングを行おうとしている。	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト
		〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（日本留学中の生徒を案内する時の注意事項等）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（新入生徒たちに伝えたいアドバイス等）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（新入生徒たちに伝えたいアドバイス等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	・スピーキングテスト

※令和４年度以降入学生用

		〈書くこと〉	ⓐ受動態・不定詞・完了形等の意味や使い方を理解している。 ⓑ身近な話題について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 （要約） （英作文、要約） ・ペーパーテスト
	中間考査			
	Lesson 3 Preconception （９時間）	〈聞くこと〉	ⓐ英語の文章レベルの強弱アクセント及び一部の一音節単語の弱形を理解している。 ⓑ日常的な話題（一見「当たり前」で、独断的な社会の決まり等）について、必要な情報を聞き取る。 ⓒ身近な話題（ウクライナの戦地避難民への支援等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・観察 ・リスニングテスト
		〈読むこと〉	ⓐ必要な文法事項（付帯状況の with 名詞 + 分詞、the + 比較級, the + 比較級、分詞構文、継続・完了の完了形）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「How Did Pink Become a “Girl’s Color” in America?」「Life in a Jar」）を読んで、概 要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「How Did Pink Become a “Girl’s Color” in America?」「Life in a Jar」）を読んで、概要を捉えようとしている。	・ペーパーテスト
	Lesson 4 The Century of War （９時間）	〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（分詞、受動態完了形、比較級等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（固定観念による社会的決まり・ナチスからユダヤ人たちを救ったセンドラー氏）の内容についてリテリングを行っている。 ⓒ単元の本題（固定観念による社会的決まり・ナチスからユダヤ人たちを救ったセンドラー氏）の内容についてリテリングを行おうとしている。	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト
		〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（ナチスを逃れて渡米した Julian の先祖たちの話など）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（ジェンダーの実態に配慮した制服づくり等）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（ジェンダーの実態に配慮した制服づくり等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	・スピーキングテスト
		〈書くこと〉	ⓐ必要な文法事項（分詞・受動態完了形・比較級等）の意味や使い方を理解している。 ⓑ身近な話題について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 （要約・英作文） ・ペーパーテスト

※令和４年度以降入学生用

	期末考査			
後期	**Lesson 5** How Our Minds Work （９時間）	〈聞くこと〉	ⓐ共通テストのリスニング問題の基本形式（長さ・質問の種類・求めているスキルや知識）を理解している。 ⓑ日常的な話題（文化祭の出し物の値段設定等）について、必要な情報を聞き取る。 ⓒ身近な話題（ニュース放送等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・観察 ・リスニングテスト
		〈読むこと〉	ⓐ必要な文法事項（It を使った強調構文、法助動詞を使った完了形、倒置を使った強調文、関係副詞の非限定用法）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「Predictably Irrational」「A Long Way Home」）を読んで、概要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「Predictably Irrational」「A Long Way Home」）を読んで、概要を捉えようとしている。	・ペーパーテスト
		〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（強調文の作り方、関係副詞の非限定用法等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（人間の非合理的な判断、地図アプリによるインド人少年の奇跡的再会）の内容についてリテリングを行っている。 ⓒ単元の本題（人間の非合理的判断、地図アプリによるインド人少年の奇跡的再会）の　内容についてリテリングを行おうとしている。	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト
	Lesson 6 I.T. and Life （９時間）	〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（見たことのある広告の心理学的テクニーク等）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（命を変えるスマホアプリはどんな機能があればいい？）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（迷子になった子供に親を探す事を手伝う等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	・スピーキングテスト
		〈書くこと〉	ⓐ英語の必要な語彙（心理学的用語・孤児の生活など）を理解している。 ⓑ身近な話題（スマホアプリ等で自分の人生はどう変わったか等）について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題（スマホアプリ等で自分の人生はどう変わったか等）について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 ・ペーパーテスト
	中間考査			
		〈聞くこと〉	ⓐ共通テストのリスニング問題を練習して、問題の形式によって何に集中すればいいか、理解している。 ⓑ日常的な話題（病院でどんな治療を受けることができるか等）について、必要な情報を聞	・観察 ・リスニングテスト

※令和４年度以降入学生用

			き取る。 ⓒ身近な話題（身の周りにある物の意外な歴史や使い方等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	
	Lesson 7 Advances in Medical Technology （９時間）	〈読むこと〉	ⓐ必要な文法事項（that 節を伴う名詞、未来進行形、関係代名詞 what を使った強調、複合関係副詞等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「Putting iPS Cells into Practice」「How We Got to Now with Glass」）を読んで、概要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「Putting iPS Cells into Practice」「How We Got to Now with Glass」）を読んで、概要を捉えようとしている。	・観察 ・授業プリント ・ペーパーテスト
	Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact （９時間）	〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（that 節を伴う名詞、関係代名詞 what を使った強調等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（iPS 細胞の実用に向けた実験・ガラスの案外な歴史）の内容についてリテリングを行っている。 ⓒ単元の本題（iPS 細胞の実用に向けた実験・ガラスの案外な歴史）の内容についてリテリングを行おうとしている。	・机間指導 ・スピーキングテスト
		〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（歴史上、重要な発明等）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（これからあってほしい大発見等）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（人工知能の開発で自分たちの生活がどう変わるか等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト
		〈書くこと〉	ⓐ英語の必要な語彙（技術開発や発明品の様々な用途など）を理解している。 ⓑ身近な話題（歴史上、一番重要な発明だと思っている技術やもの等）について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題（山中教授の富高訪問時の話の内容等）について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 ・ペーパーテスト
	期末考査			

※　評価方法ついて　ⓐ:知識・技能　ⓑ:思考・判断・表現　ⓒ:主体的に学習に取り組む態度